

(様式例第11)



鹿医発事100501号
令和2年10月5日

都道府県知事 殿

住所 鹿児島県鹿児島市城山町8番1号
申請者 氏名 院長 田中 康博

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、2019年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒152-8621 東京都目黒区東が丘2-5-21
氏名	独立行政法人国立病院機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター

3 所在の場所

〒892-0853 鹿児島県鹿児島市城山町8番1号 電話 (099) 223-1151

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	410床	410床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、体外式ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置
化学検査室	(主な設備) 多項目生化学自動分析器、グルコース自動分析器、全自動電気泳動装置、自動酵素免疫分析装置、尿自動分析装置、血液ガス分析装置、自動血球計数装置、血液線溶分析装置
細菌検査室	(主な設備) 全自動細菌検査システム、全自動血液培養検査装置、培養恒温庫
病理検査室	(主な設備) 光学顕微鏡
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、臓器撮影装置、電気鋸、臓器計量器、殺菌灯
生理検査室	(主な設備) 心電計、超音波診断装置
研究室	(主な設備) 全自動細胞解析装置、マイクロプレートリーダー解析システム、画像処理システム、遺伝子増幅装置、リアルタイムPCR定量システム、蛍光微分干渉顕微鏡システム、倒立型位相差顕微鏡システム、安全キャビネット
講義室	室数 2室 収容定員 100人
図書室	室数 1室 蔵所数 3,000冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 酸素ボンベ、シリンジポンプ、輸液ポンプ、救急医薬品 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 10.54 m ² [共用室の場合]

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	84.3%	算定 期間	平成31年 4月 1日～令和 2年 3月 31日
地域医療支援病院 逆紹介率	89.5%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		7,843人
	B：初診患者の数		9,303人
	C：逆紹介患者の数		8,329人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
		別紙1のとおり	常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	376床
専用病床	29床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師	田中 秀樹	常勤 専従	8:30~17:15	救急科医師
2	医師	中島 均	常勤 非専従	8:30~17:15	
3	医師	片岡 哲郎	常勤 非専従	8:30~17:15	
4	医師	高崎 州亜	常勤 非専従	8:30~17:15	
5	医師	楠元 啓介	常勤 非専従	8:30~17:15	
6	医師	福永 研吾	常勤 非専従	8:30~17:15	
7	医師	福元 大地	常勤 非専従	8:30~17:15	
8	医師	平峯 温子	常勤 非専従	8:30~17:15	
9	医師	立志 公史郎	非常勤 非専従	8:30~15:00	
10	医師	中島 麻里	非常勤 非専従	8:30~15:00	
11	医師	藺田 正浩	常勤 非専従	8:30~17:15	
12	医師	東 健作	常勤 非専従	8:30~17:15	
13	医師	平峯 聖久	常勤 非専従	8:30~17:15	
14	医師	石川 裕輔	常勤 非専従	8:30~17:15	
15	医師	馬場 善政	常勤 非専従	8:30~17:15	
16	医師	園田 幸一郎	常勤 非専従	8:30~17:15	
17	医師	松本 洋之	常勤 非専従	8:30~17:15	
18	医師	塗木 徳人	常勤 非専従	8:30~17:15	
19	医師	奥井 英樹	常勤 非専従	8:30~17:15	
20	医師	蔡 榮鴻	常勤 非専従	8:30~17:15	
21	医師	金城 玉洋	常勤 非専従	8:30~17:15	
22	医師	荒田 憲一	常勤 非専従	8:30~17:15	
23	医師	向原 公介	常勤 非専従	8:30~17:15	
24	医師	重久 喜哉	常勤 非専従	8:30~17:15	
25	医師	川津 祥和	常勤 非専従	8:30~17:15	
26	医師	立石 直毅	常勤 非専従	8:30~17:15	
27	医師	藏元 慎也	常勤 非専従	8:30~17:15	
28	医師	寺園 和哉	常勤 非専従	8:30~17:15	
29	医師	松岡 秀樹	常勤 非専従	8:30~17:15	
30	医師	高口 剛	常勤 非専従	8:30~17:15	
31	医師	有水 琢朗	常勤 非専従	8:30~17:15	
32	医師	池田 め衣	常勤 非専従	8:30~17:15	
33	医師	石神 崇	常勤 非専従	8:30~17:15	
34	医師	谷口 歩	常勤 非専従	8:30~17:15	
35	医師	菰方 輝夫	常勤 非専従	8:30~17:15	
36	医師	塗木 健介	常勤 非専従	8:30~17:15	
37	医師	本高 浩徐	常勤 非専従	8:30~17:15	
38	医師	吉川 弘太	常勤 非専従	8:30~17:15	
39	医師	冨田 宣裕	常勤 非専従	8:30~17:15	

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
特定集中治療室	401.52m ²	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、体外式ペースメーカー、心電計、ポータブルエックス線撮影装置、呼吸循環監視装置	可
緊急検査室	631.80m ²	(主な設備) 多項目生化学自動分析器、自動血球計数装置、血液凝固線溶分析装置、血液ガス分析装置、心電計、保冷库、遠心機、尿自動分析装置	可
MRI室	78.56m ²	(主な設備) 磁気共鳴断層撮影装置	可
CT室	67.49m ²	(主な設備) マルチスライスコンピューター断層診断装置	可
救急治療室	118.79m ²	(主な設備) 人工呼吸器、自動血圧装置、心電図モニター、除細動装置	可
IVR-CT室	98.72m ²	(主な設備) マルチスライスコンピューター断層診断装置、血液透視装置	可

4 備考

平成26年7月11日指令鹿地福第71-1号により救急病院に認定

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,093人 (1,485人)
上記以外の救急患者の数	1,589人 (639人)
合計	3,632人 (2,124人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用件数 2,212件（内訳：CT 1,445件、MRI 545件、RI 281件）
 うち特別な関係にない共同利用件数 2,189件（内訳：CT 1,432件、MRI 537件、RI 279件）
 利用医療機関 570施設（うち特別な関係にない利用医療機関 566施設）
 共同利用に係る病床利用率 84.3%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- ・建物全部
- ・CT、MRI、血管連続撮影装置、RI
- ・上記に付随する器械及び器具一式

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有 無 別紙2
 イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：山口 輝
 職種：企画課 外来係

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙3の通り				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター開放型病院運営規程

(目 的)

第1条 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター（以下「病院」という。）は、地域中核病院として従来の責務に加えて、患者中心の一貫性の医療ならびに協定医師会会員の生涯教育・研修のために、病院の開放、高度医療機器の利用、さらに相互の医学研修など病病、病診連携により充実した医療を地域住民に提供することを目的とする。

(登 録 医)

第2条 開放病床利用を希望する医師は、鹿児島医療センター地域医療連携室（以下「連携室」という。）に登録を行う。病院は登録医証を交付する。

2. 登録期間は4月1日から翌年3月31日までの1年とする。ただし、双方異存がない場合は、自動更新するものとする。

3. 登録医は、自己の都合で登録の取り消しを申し出る場合、この旨を連携室に申請する。

(身 分)

第3条 登録医は病院の組織には所属しないが、医長または主治医との連携のもとに病院職員に対して指示することができる。

(責 務)

第4条 登録医は病院の諸規則、規程を遵守するとともに、所定の名札を着用するものとする。

2. 病院の主治医は診断治療の責任をもつものとする。

(紹介、外来、入院の手順)

第5条 患者紹介、入院の手順、入院の可否の決定は各診療科と登録医の合意によるものとする。

ただし、外来検査のみ希望の場合は、あらかじめ日時を予約することができるものとする。

(診 療)

第6条 登録医は、医長または主治医との連携のもとに、紹介した入院患者を診察し、検査や治療に参加することができる。

ただし、次の事項を遵守するものとする。

(1) 診察のために来院するときは、医事課（時間外は管理当直）備え付けの名簿に記入するものとする。

(2) 診療時間は、原則として午前9時より午後8時までとする。

(3) 診療を行うときは、病院の方針を遵守するものとする。

(退院の手順)

第7条 患者の退院に際し、主治医は必要に応じ、登録医と退院後の治療方針について協議する。また、登録医は主治医から入院経過及び結果の報告を受けるものとする。

(研究会、研修会等)

第8条 登録医は病院で行う研究会、研修会等に参加することができる。
病院は登録医の出席し易い研究会、研修会等を開催するものとする。

(支 援)

第9条 病院は登録医の院内活動を支援し、便宜をはからねばならない。

(実施細目)

第10条 各診療科医長は各診療科に適当な実施細目を作ることができる。この際、開放型病院運営協議会にはかり、院長の承認を得る必要がある。変更する場合も同様である。

(開放型病院運営協議会)

第11条 開放型病院の運営を円滑に行うため、開放型病院運営協議会を設置し、要綱の改正及び運営管理に関する事項を協議する。

附則 この規程は平成17年7月27日より施行する。

独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター開放型病院連携登録医会契約書

(以下「甲」という。)と独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター院長 田中 康博(以下「乙」という。)は、独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター開放型病院連携登録医会(以下「登録医会」という。)について、次のとおり契約を締結する。

(登録医会登録)

第1条 甲は、乙の登録医会に登録する。

(紹介患者の入院)

第2条 乙は、甲からの紹介患者の入院は、最優先として夜間や休日の受け入れにも最大限の努力を払う。

(病院施設、設備の開放)

第3条 乙は甲に対し、乙の病院施設並びに設備を以下のとおり開放する。

- 一 乙は甲からの紹介患者について、共同指導の申し出に応じ、乙の施設を開放する。
- 二 乙は甲からの検査依頼に応じ、最優先的に検査設備を開放する。

(協議)

第4条 この契約に定めのない事項、または各条項の解釈について疑義が生じたときは、甲乙協議して決定する。

(契約期間)

第5条 この契約期間は、令和 年 月 日から令和 年 月 日までとする。
ただし、契約期間満了1ヵ月前までに甲乙いずれか一方から何らかの意思表示をしない時は、期間満了の翌日において向こう1ヵ年順次契約を更新したものとする。

上記のとおり契約を締結したことを証明するため、契約書2通を作成し、甲乙記名押印のうち各1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲

乙 鹿児島市城山町8番1号
独立行政法人国立病院機構
鹿児島医療センター院長 田中 康博 ⑩

No	医療機関名	開設者名	医師名	医師名のフリガナ	郵便番号	住所	主たる診療科目	地域医療支援病院開設者との経営上の関
1	宇根クリニック	宇根 文穂	宇根 文穂	ウネ フミホ	892-0811	鹿児島市玉里団地3-26-12	内・眼・神内・リハ	無
2	四本クリニック	四本 鑑一	四本 鑑一	ヨシモト コウイチ	891-0144	鹿児島市下福元町5437-2	肛・胃・呼・外	無
3	かわなべ共立内科	医療法人 雅集会	児玉 雅彦	コノマ マサヒコ	897-0221	川辺郡川辺町田部田3971	内・呼・消・循	無
4	康生クリニック	医療法人 康生	桑水流 康夫	クワシユウ ヤスオ	899-2502	日置市伊集院町徳重158-1	内・呼・消・胃・循・児・精・神内	無
5	中馬クリニック	医療法人 中馬クリニック	中馬 好子	チウマン コシコ	899-5652	始良郡始良町平松5801	内	無
6	今村クリニック	医療法人 緑樹会	今村 勉	イマムラ ツトム	892-0815	鹿児島市易居町1-13	内・外・放・整・麻	無
7	東開内科クリニック	医療法人 東開内科クリニック	植松 俊昭	ウエムラ シュンアキ	891-0115	鹿児島市東開町3-131	内・消・循・呼	無
8	江川内科消化器科	江川 伸一郎	江川 伸一郎	エガワ シンイチロウ	892-0817	鹿児島市小川町2-2	消・内	無
9	鬼丸内科循環器科	医療法人 高国会	鬼丸 円	オニマル マドカ	891-1105	鹿児島市郡山町6513	循・内	無
10	黒岩内科	医療法人 さくら会	黒岩 宣親	クロイワ ノブチカ	899-2504	日置市伊集院町2丁目75	内	無
11	外山内科クリニック	医療法人 愛樹会	外山 幹樹	トヤマ モキキ	890-0003	鹿児島市伊敷5-19-25	内・呼・胃・麻	無
12	平川内科クリニック	医療法人 友心会	平川 嘉久	ヒラカワ ヨシサ	890-0067	鹿児島市真砂本町3-77	内・呼・児・消・循	無
13	福元クリニック	医療法人 友心会	福元 弘和	フクノ ヒロカズ	892-0816	鹿児島市山下町12-8	内	無
14	前田内科クリニック	医療法人 仁胤会	前田 忠	マエダ タダシ	892-0817	鹿児島市小川町9-1	内・消・循	無
15	前畠医院	医療法人 前畠	前畠 裕幸	マエハタ ヒロユキ	891-1105	鹿児島市郡山町1308	外・内・消	無
16	小田原病院	医療法人 尚愛会	牧 猛	マキ タケシ	892-0844	鹿児島市山之口町8-1	内・消・呼・循・胃・肛・リハ	無
17	宮田内科消化器科	医療法人 孔生会	宮田 晋	ミヤタ シン	892-0871	鹿児島市吉野町3037-46	内・消	無
18	村岡内科	村岡 敏宏	村岡 敏宏	ムラオカ シノブ	890-0045	鹿児島市武2丁目12-2	内・消・循	無
19	盛満医院	盛満 憲生	盛満 憲生	モリミツ ノリオ	892-0875	鹿児島市川上町3444-1	消・内・児・神	無
20	山下わたる内科	医療法人 拓和会	山下 互	ヤマダ ヌタ	899-5421	始良郡始良町東餅田424-1	内・消・循	無
	吉井胃腸科肛門科	医療法人 恵会	吉井 鑑興	ヨシイ ヒロオキ	890-0014	鹿児島市草牟田2-10-2	肛・胃・外	無
	岩尾病院	医療法人 あおぞら会	中村 尚人	ナカムラ ナオト	892-0837	鹿児島市甲突町17-18	内・神内	無
23	霜出義輝内科クリニック	霜出 義輝	霜出 義輝	シロメデ ヨシテル	890-0056	鹿児島市下荒田3-39-9	内・消・リハ	無
24	村山内科循環器科	村山 隆	村山 隆	ムラヤマ タカシ	890-0041	鹿児島市城西2-6-7	内・循・児・放	無
25	市業内科	医療法人 健仁会	萩原 健一	ハギハラ ケンイチ	899-2103	いちき串木野市大里3869	消・内・呼・循	無
26	石塚レディースクリニック	医療法人 石塚 レディースクリニック	石井 裕子	イシイ ユウコ	892-0838	鹿児島市新屋敷町4-10	産・婦	無
27	伊集院病院	医療法人 清泉会	伊集院 吐夢	イジウイン トム	892-0806	鹿児島市池之上町9-27	産・婦・麻	無
28	よしながウイメンズクリニック	医療法人 よしながウイメンズクリニック	鶴木 康資	ツルギ ヤスシ	890-0055	鹿児島市上荒田町2-6-201	産・婦	無
29	柿木病院	医療法人 聖成会	柿木 博成	カキキ ヒロナリ	892-0846	鹿児島市加治屋町15-3	産・婦・麻	無
30	こしゃクリニック	古謝 将一郎	古謝 将一郎	コシャ ショウイチロウ	892-0845	鹿児島市西田2丁目21-3	産・婦	無
31	原口産婦人科	医療法人 広祐会	原口 裕之	ハラグチ ヒロユキ	899-4332	霧島市国分中央3丁目17-13	産・婦	無
32	みつお産婦人科	医療法人 三世会	満尾 雅彦	ミツオ マサヒコ	899-5117	霧島市隼人町見次1296-3	産・婦	無
33	フィオーレ第一病院	医療法人 碩済会	山元 慎一	ヤマモト シンイチ	899-5215	始良郡加治木町本町307-1	産・婦	無
34	有馬内科クリニック	有馬 桂	有馬 桂	アリマ カズヲ	892-0847	鹿児島市西千石町3-21	内・消・循・児・胃	無
35	林内科医院	医療法人 昭芳会	林 芳郎	ハヤシ ヨシロウ	899-6102	始良郡湧水町中津川498	内・胃・眼・児・リハ・放	無
36	古川胃腸科クリニック	医療法人 薩美会	古川 勉	フルカワ ツトム	891-0144	鹿児島市下福元町6091-3	胃・放・外・リハ	無
37	喜入クリニック	医療法人 喜望会	黒岩 義文	クロイワ ヨシフミ	891-0203	鹿児島市喜入町6016	内・呼・消・循	無
38	プリムラククリニック	中村 教子	中村 教子	ナカムラ ノリコ	892-0842	鹿児島市東千石町1-1第8川北ビル6F	内・放	無
39	濃崎クリニック	医療法人 泰水会	濃崎 泰和	ハチマツ ヤステル	890-0046	鹿児島市西田2丁目21-4	内・循	無
40	花倉病院	医療法人 仁愛会	崎元 阿子	サキモト アコ	892-0871	鹿児島市吉野町5147	精・神	無
41	東内科小児科クリニック	医療法人 天恵会	馬場 香子	ババ キョウコ	891-2104	垂水市天神3485-1	内・循・呼・児	無
42	服部内科クリニック	医療法人 貴心会	服部 行麗	ハツリ ユキヨシ	891-0113	鹿児島市東谷山5丁目26-10	胃・消・呼・放・内	無
	隼人温泉病院	医療法人 松城会	岩城 政秋	イワキ マサアキ	899-5111	霧島市隼人町姫城1丁目264-2	内・循	無
44	渡辺医院	渡邊 好文	渡邊 好文	ワタナベ ヒロシミ	899-2703	鹿児島市上谷口町2970	外・放・内・整	無
45	厚地記念クリニック	医療法人 慈風会	陣之内 正史	ジノウチ セイシ	892-0841	鹿児島市照国町12-1	放	無
46	木村外科内科	医療法人 木村外科内科	木村 俊博	キムラ トシロ	899-2701	鹿児島市石谷町2101-7	内・外・整・小・肛・泌・リハ	無
47	朝戸医院	医療法人 朝戸 医院	朝戸 末男	アサト スエオ	891-9112	大島郡和泊町和泊14	消・整・外・内	無
48	串木野内科・循環器科	医療法人 芳清会	有川 清猛	アリカワ キヨタケ	896-0012	いちき串木野市中尾町72	循・内・呼・児	無
49	有馬新一クリニック	有馬 新一	有馬 新一	アリマ シンイチ	890-0056	鹿児島市下荒田2丁目1-1サンプラス荒田3F	内・循	無
50	有山内科医院	医療法人 輝陽会	有山 尊郎	アリヤマ タカオ	898-0054	枕崎市鹿鹿籠町33	内・循	無
51	稲森内科消化器科	医療法人 幸英会	稲森 英明	イネモリ ヒデアキ	891-0116	鹿児島市上福元町5723-3	内・消	無
52	大蔵医院	医療法人 英世会	大蔵 英世	オオクラ ヒデオ	891-9214	大島郡知名町知名16-2	内・胃・循・児	無
53	沖野循環器科病院	医療法人 秀愛会	沖野 秀紀	オキノ ヒロキ	892-0847	鹿児島市西千石町13-30	循	無
54	小田代病院	医療法人 恵徳会	小田代 卓也	オダノ代 タクヤ	890-0054	鹿児島市荒田1丁目25-6	外・麻・循・胃・放・リハ・整	無
55	市比野記念病院	社会医療法人 卓翔会	黒田 篤	クロダ アツシ	895-1203	薩摩川内市橋脇町市比野3079	内・循・心療・呼・消・胃・精・肛	無
56	植村病院	社会医療法人 愛仁会	長柄 英男	ナガハネ ヒデオ	890-0008	鹿児島市伊敷2丁目1-2	外・内・呼・消・循・婦	無
57	つかさヘルスケアホスピタル	医療法人 松柏会	枇榔 貞利	ヒロウ サダシ	891-0104	鹿児島市山田町441	内	無
58	小原病院	医療法人 厚生会	宮里 浩高	ミヤサト ヒロタカ	898-0003	枕崎市折口町109	内	無
59	始良市立北山診療所	始良市長	毛利 通宏	モリ ミチヒロ	899-5541	始良郡始良町北山842	内・児	無
60	今松総合病院	公益財団法人 昭和会	盛満 慎吾	モリミツ シンゴ	892-8502	鹿児島市下竜尾町4-16	内	無
61	いぶすき内科	医療法人 南星会	湯通堂 敏郎	ユヅトウ シノブ	891-0402	指宿市十町2321-1	循・内・呼・リハ・放	無
62	指宿浩然会病院	医療法人 浩然会	吉永 峯文	ヨシナガ ミネフミ	891-0402	指宿市十町1145	内・消・循・リハ	無
63	隼人温泉病院	医療法人 松城会	市成 浩太郎	イチナリ コウタロウ	899-5111	霧島市隼人町姫城1丁目264-2	内・循	無
64	健三郎今村クリニック	医療法人 健諭会	今村 健三郎	イマムラ ケンザウロウ	892-0816	鹿児島市山下町9-1	内・消	無
65	五反田内科クリニック	医療法人 天翔会	五反田 満幸	ゴタンダ ミツユキ	892-0844	鹿児島市薬師2丁目7-62	呼・内・循・消	無
66	内科薬田病院	医療法人 柴心会	柴田 邦彦	シバタ ケンヒコ	892-0827	鹿児島市中町12-14	内・循	無
67	中央病院	社会医療法人 天陽会	厚地 良彦	アツチ ヨシヒコ	892-0822	鹿児島市泉町6-7	内・消・循・児・神内・外・心	無

登録医療機関名簿

(別紙3)

No	医療機関名	開設者名	医師名	医師名のフリガナ	郵便番号	住所	主たる診療科目	地域医療支援病院開設者との経営上の関
68	富永内科	医療法人 青雪会	富永 裕一	トミナガ ユウイチ	890-0002	鹿児島市西伊敷4丁目7-7	内・循・胃・児・神	無
69	西内科・循環器科	西 征二	西 征二	ニシ セイジ	892-0842	鹿児島市東千石町13-29天文館ビル4F	循・内	無
70	浜崎クリニック	医療法人 雪光会	濱崎 泰弘	ハマザキ ヤスヒロ	899-5231	姶良市加治木町反土2628	消・外・内	無
71	つみのり内科クリニック	山下 積徳	山下 積徳	ヤマタ ツミノリ	891-0105	鹿児島市中山町5157	内・循	無
72	枕崎市立病院	枕崎市長	佐々木 健	ササキ ケン	898-0034	枕崎市日之出町230	内	無
73	牧瀬内科クリニック	医療法人 牧瀬内科クリニック	牧瀬 洋一	マキセ ヨウイチ	899-7302	曽於郡大崎町神領2394-1	内・呼・消・循・児・リハ	無
74	松下亮治内科	医療法人 新星会	松下 亮治	マツダ リョウジ	899-5223	姶良市加治木町新生町130-1	内・循・胃・リハ・放・呼	無
75	益崎内科	医療法人 弘恵会	益崎 恵文	マサキ シゲフミ	891-0114	鹿児島市小松原2丁目22-25	内・循・児	無
76	西陵クリニック	医療法人 弘愛会	坂元 弘人	サカモト ヒロト	890-0032	鹿児島市西陵5丁目12-5-2	消・呼・外	無
77	荒田小児科医院	荒田 弘道	荒田 弘道	アラタ ヒロミチ	892-0871	鹿児島市吉野町2210-3	児	無
78	大坪こどもクリニック	医療法人 童心会	大坪 修介	オオツボ シュウスケ	890-0034	鹿児島市田上2丁目15-11	児	無
79	鬼丸小児科すこやかクリニック	医療法人 鬼丸 小児科	鬼丸 高恒	オニマル タツネ	899-5223	姶良市加治木町新生町127	児	無
80	きたはらこどもクリニック	医療法人 きたはらこどもクリニック	北原 琢磨	キタハラ タクマ	899-4343	霧島市国分野口西19-31	児	無
81	昭和会クリニック	公益財団法人 昭和会	玉田 泉	タマダ イズミ	892-0852	鹿児島市下竜尾町2-6	児	無
82	あいら小児科	原口 務	原口 務	ハラグチ ヂツム	899-5431	姶良市西餅田118-1	児	無
83	県立北薩病院	鹿児島県知事	福重 寿郎	フクシゲ シュウロウ	895-2526	大口市宮内502-4	児	無
84	うえはらクリニック	医療法人 上原会	上原 景光	ウエハラ ケイミツ	891-1304	鹿児島市本名町1071-1	消・循・外・肛	無
85	三宅病院	医療法人 一誠会	三宅 智	ミヤケ サチ	891-0141	鹿児島市谷山中央7丁目3-1	放・内・呼・消・リハ	無
86	池之上クリニック	馬渡 浩介	馬渡 浩介	マワタ コウスケ	892-0806	鹿児島市池之上町10-7	内・循・消	無
87	霧島市医師会立医療センター	霧島市長	藤崎 邦夫	フジサキ ナオ	899-5112	霧島市隼人町松永3320	消・内	無
88	川島クリニック	川島 淳宏	川島 淳宏	カシマ スミヒロ	899-5215	姶良市加治木町本町353	外・消・循・リハ	無
89	尾辻クリニック内科胃腸科	医療法人 尾辻クリニック	尾辻 真人	オウジ マサト	891-0103	鹿児島市皇徳寺台1丁目28-15	内・胃	無
90	いなもりクリニック	稲森 洋平	稲森 洋平	イナモリ ヨウヘイ	890-0046	鹿児島市西田1丁目4-15	内・消・外・肛	無
91	耳鼻咽喉科田上クリニック	医療法人 祐代会	伊東 祐久	イトウ スケヒサ	890-0034	鹿児島市田上1丁目23-10	耳	無
92	河俣内科	河俣 仲秋	河俣 仲秋	カワマツ ナカキ	899-5421	姶良市東餅田312-1	内	無
93	はしぐちクリニック	医療法人 翔南会	橋口 真也	ハシグチ マコト	897-0031	南さつま市加世田東本町14-14	内・胃・消	無
94	石神胃腸科内科医院	石神 信治	石神 信治	イシガミ ノブハル	899-2201	日置市東市来町湯田3261-6	内・胃・消・循	無
95	前田内科消化器科	医療法人 信愛会	前田 利宗	マエダ トシムネ	892-0816	鹿児島市山下町12-27	内・消	無
96	梅津整形外科医院	医療法人 梅津整形外科医院	梅津 龍哉	ウメヅ タツヤ	892-0875	鹿児島市川上町1959-25	整・リハ	無
97	隆成会病院	医療法人 隆成会	島本 純和	シマモト ヒロカズ	890-0065	鹿児島市郡元2丁目11番20号	内・胃・循・外・児外・リハ	無
98	朝隈耳鼻咽喉科医院	医療法人 朝隈耳鼻咽喉科	朝隈 真一郎	アサクマ シンイチ	892-0843	鹿児島市千日町9-9	耳	無
99	鯨島クリニック	医療法人 康和会	鯨島 篤史	サメシマ アツシ	891-0143	鹿児島市和田1丁目30-14	耳	無
100	まつなが耳鼻咽喉科	医療法人 信幸会	松永 信也	マツナガ シンヤ	890-0008	鹿児島市伊敷6丁目17-20	耳	無
101	おおのクリニック	医療法人 真誠会	大野 文夫	オオノ フミオ	899-5431	姶良市西餅田578-2	耳	無
102	でぐち耳鼻咽喉科	医療法人 エバーグリーン	出口 浩二	デグチ コウジ	899-5652	姶良市平松2878-15	耳	無
103	西園耳鼻咽喉科クリニック	医療法人 春桜会	西園 浩文	ニシノノ ヒロフミ	899-5215	姶良市加治木町本町249-1	耳・アレルギー・気管食道科	無
104	ふくい耳鼻咽喉科クリニック	医療法人 エターナル	福岩 達哉	フクイワ タツヤ	897-0006	南さつま市加世田本町22-5	耳・気管食道外科・アレルギー	無
105	池田病院(鹿屋)	社会医療法人 童仁会	池田 大輔	イケダ ダイスケ	893-0024	鹿屋市下蔵川町1830	内・整形・リハ・神内・消・循・呼・リウマチ・放	無
106	たねだひ尿器科クリニック	種子田 洋史	種子田 洋史	タネダ ヒロフミ	892-0854	鹿児島市長田町18-11	泌	無
107	児玉上共立病院	医療法人 千一會	児玉 千早	コダマ チハヤ	892-0855	鹿屋市寿5丁目2-39	内・呼・循・消・小児・皮・放	無

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

- ・ 第3回 糖尿病医療学研究会 inかごしま
- ・ 鹿児島CT研究会
- ・ 病院医療従事者向け認知症対応力向上研修
- ・ 第4回地域緩和ケア連携研修会
- ・ 鹿児島県看護協会 2019年度 糖尿病重症化予防（フットケア）研修
- ・ 鹿児島がん看護エキスパートナース研修公開講座
- ・ 鹿児島CT研究会
- ・ 楽しく学ぶ基礎看護技術講座「口腔ケア」
- ・ スキンケア（皮膚裂傷）について
- ・ 楽しく学ぶ基礎看護技術講座「認知症ケア」
- ・ 楽しく学ぶ基礎看護技術講座「認知症患者の看護」
- ・ 第5回地域緩和ケア連携研修会
- ・ 循環器看護エキスパートナース研修公開講座（院内生のみ対象）
- ・ 認知症看護
- ・ 鹿児島CT研究会
- ・ 脳卒中看護エキスパートナース研修公開講座
- ・ 脳卒中看護エキスパートナース研修
- ・ 楽しく学ぶ基礎看護技術講座「看取りの看護」
- ・ 看護職員認知症対応力向上研修
- ・ 令和元年度 がん診療に携わる医師等に関する緩和ケア研修会
- ・ 心臓・血管病市民公開講座
- ・ 脳卒中市民公開講座
- ・ 健康フェスタ
- ・ がん市民公開講座

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	24回
(2) (1) の合計研修者数	2,376人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有・無
- イ 研修委員会設置の有無 有・無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
別紙4の通り				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

(別紙4) 研修指導者一覧

研修指導医氏名	職種	診療科	役職	臨床経験年数	特記事項
菰方 輝夫	医師	外科	外科部長	31	教育責任者
中島 均	医師	循環器内科	副院長	34	
松崎 勉	医師	耳鼻いんこう科	統括診療部長	34	
城ヶ崎 倫久	医師	循環器内科	臨床研究部長	35	
郡山 暢之	医師	糖尿病・内分泌内科	糖尿病・内分泌内科部長	30	
久保 智	医師	糖尿病・内分泌内科		15	
藺田 正浩	医師	循環器内科	循環器内科部長	32	
塗木 徳人	医師	循環器内科	循環器内科医長	26	
片岡 哲郎	医師	循環器内科	循環器内科医長	26	
高崎 州亜	医師	循環器内科	病態生理研究室長	22	
東 健作	医師	循環器内科	循環器内科医長	20	
楠元 啓介	医師	循環器内科		17	
蔡 榮鴻	医師	循環器内科		11	
馬場 善政	医師	循環器内科		10	
石川 裕輔	医師	循環器内科		10	
佐保 尚三	医師	麻酔科	麻酔科医長	28	
米谷 新	医師	麻酔科	麻酔科医長	22	
砂永 仁子	医師	麻酔科	麻酔科医長	18	
肥後 友紀	医師	麻酔科		15	
平木 嘉幸	医師	放射線科	放射線科部長	34	
井手上 淳一	医師	放射線科	放射線科医長	24	
大田 俊一郎	医師	婦人科	婦人科医長	27	
野元 三治	医師	病理診断科	病理診断科部長	31	
松下 茂人	医師	皮膚科	皮膚腫瘍科・皮膚科医長	25	
青木 恵美	医師	皮膚科	皮膚科医長	17	
千代丸 剛	医師	泌尿器科	泌尿器科医長	18	
谷口 歩	医師	脳神経外科	脳神経外科医長	20	
松岡 秀樹	医師	脳血管内科	神経内科医長	27	
有水 琢朗	医師	脳血管内科		8	
古庄 正英	医師	腎臓内科		13	
金城 玉洋	医師	心臓血管外科	心臓血管外科部長	33	
田中 裕治	医師	小児科	小児科部長	30	
田邊 貴幸	医師	小児科	小児科医長	24	
森田 康子	医師	小児科		13	
福永 研吾	医師	循環器内科		15	
魚住 公治	医師	腫瘍内科	腫瘍内科部長	36	
西元 謙吾	医師	耳鼻いんこう科	耳鼻いんこう科医長	26	
中村 康典	歯科医師	歯科口腔外科	歯科口腔外科医長	26	
大塚 眞紀	医師	血液内科	血液内科部長	33	
大渡 五月	医師	血液内科	血液内科医長	27	
藤野 聡司	医師	血液内科		10	
田中 秀樹	医師	救急科	救急科医長	26	

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
研修センター3階	119.7m ²	(主な設備) 液晶プロジェクター、スクリーン 音響機器
管理棟会議室	152.22m ²	(主な設備) 液晶プロジェクター、スクリーン 音響機器、高精細カラーモニター
管理棟テレビ会議室	71.5m ²	(主な設備) プラズマディスプレイ、画像転送装置、動画ビューア装置、高精細カラーモニター、OHPプロジェクター、ホワイトボードスクリーン
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 田中 康博
管理担当者氏名	管理課長 瀬之口 眞澄、企画課長 伊藤 淳司 副看護部長 友倉 三千代、薬剤部長 尾之江 剛樹

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテサーバー及び各該当科、室及び課にて保存	診療に関する諸記録⇒電子カルテ独立サーバー内、患者ID別管理。 紙ベースについては下記の通り (旧診療録等：カルテ保管庫, 患者ID別) (処方せん：薬剤科倉庫, 発行日別) (他諸記録：各部署保管庫, 患者別日別)
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	企画課	年度別（年間）ファイル
	救急医療の提供の実績	企画課	年度別（年間）ファイル
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	管理課	年度別（年間）ファイル
	閲覧実績	管理課	提出申請書（日付別）ファイル
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	企画課	電子カルテ内パソコン管理による帳簿出力

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務部長 河野 完治
閲覧担当者氏名	庶務係長 高野 めぐみ
閲覧の求めに応じる場所	管理課庶務係
閲覧の手続の概要 ①情報公開窓口による十分な相談・案内 ②情報公開窓口へ開示請求の申し出 ③開示請求手数料の納付 ④開示請求の受理 ⑤開示・不開示の審査 ⑥開示（閲覧・謄写）	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1回	
委員会における議論の概要		
<p>令和元年5月29日 地域医療支援病院運営委員会</p> <p>①現況報告</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域医療支援委員会運営規程・ 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率の推移・ 救急患者取扱件数・ 大型医療機器共同利用の実績・ ドクターヘリ受入状況・ 研修会実績・ 開放型登録医の登録状況 <p>②質疑応答</p> <p>令和元年12月18日 地域医療支援病院運営委員会</p> <p>① 現況報告</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地域医療支援委員会運営規程・ 患者数報告・ 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率の推移・ 救急患者取扱件数・ 大型医療機器共同利用の実績・ ドクターヘリ受入状況・ 研修会実績・ 開放型登録医の登録状況 <p>②質疑応答</p>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

鹿児島医療センター

第19回 地域医療支援病院運営委員会 議事録

【日時】令和1年5月29日(火)18:00～19:00

【場所】鹿児島医療センター 会議室

【出席者】新名 清成 (鹿児島市医師会 副会長)

泉尾 護 (鹿児島市保健所長)

上野 泰弘 (鹿児島県薬剤師会会長)

吉原 寛二 (鹿児島市消防局 警防課長)

大野 達郎 (学識経験者)

田中 康博 (鹿児島医療センター院長)

松崎 勉 (" 統括診療部長)

城ヶ崎 倫久 (" 臨床研究部長)

河野 完治 (" 事務部長)

村田 淳子 (" 看護部長)

事務局(藺田正浩、副島一隆(司会)、西辻美佳子、山口輝(議事))

【議事内容】

1. 委員長挨拶(委員長欠席のため代理:鹿児島市医師会副会長)

委員長が欠席のため、代理の挨拶をさせていただきます。鹿児島医療センターの発展は目覚ましいものがあり、地域医療支援だけでなく救急医療や医療関係者への教育、最新医療を整えて最新技術をもって、かかりつけの先生方の要望に応えるという重要な役割を担っていらっしゃいます。

今回の委員会は鹿児島医療センターがさらにより良い病院になるために、活発な会議とさせていただきますたく存じます。

2. 院長挨拶

委員の皆様、本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。当院は循環器、脳血管を中心とした三次救急を行っております。また、がんに対しても外科的治療や内科的治療を行っております。地域支援病院として鹿児島県内病院の規範になる医療を提供することを目標に職員一丸で取り組んでおります。また、より多くの方々から評価していただき、それを参考にしながら、少しでも良い病院になるよう、一歩でも二歩でも進めていきたいと思っております。当院では、4月より13人の診療科部長を配置しており、新体制で診療を行っております。救急科が出来て二年となり、三次救急が中心な当院ですが、『心臓・脳卒中・がん』については特に、当院で治療を行いたいと思われるように病院全体で取り組んでおります。

本日はいろいろなご意見を忌憚なく言っていただき、そちらを参考に努めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

3. 地域医療支援病院の現況報告(副島経営企画室長)

早速ではあります但し現況報告を致します。それではお手元の運営委員会資料冊子をご覧ください。

① 地域医療支援病院運営委員会規程

始めに運営委員会規程になります。資料の1頁及び2頁です。人事異動によりメンバーの変更はございますが、規定については昨年からの変更点はございません。

特に何もご意見がなければ次に進めさせていただきます。

② 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率(平成26年度～30年度)

続きまして資料3頁からです、グラフをご覧ください。紹介率・逆紹介率の推移のグラフになります。赤い折れ線グラフが平成30年度になります。平成30年度から大幅に数値が増えておりますが、こちらは地域支援病院の要件の中で率を計算する際に、今までは複数診療科を受診する患者の分それぞれカウントしていたものを今回より1人1カウントで計算するようにしたためであります。地域支援病院の要件としては満たしている状況です。30年度の紹介率の伸びは東8階病棟の立ち上げによるものです。

③ 月別患者紹介率及び逆紹介率(平成26年度～30年度)

5・6頁は地域支援病院の計算方式に基づいて算出した、紹介・逆紹介における初診患者数や、休日または夜間に受診した救急患者数の表になります。

④ 救急車搬送数及び救急患者取扱件数(平成26年度～30年度)

7頁が救急患者数の状況です。年度の救急搬送数についてですが、徐々に増加傾向にあります。平成30年度に関して患者数が多い診療科については、第一循環器、第二循環器、脳血管内科であります。当院が平成28年11月から心臓病・脳卒中救急センターを立ち上げ、第二循環器の医師が救急科の専属医師となったため、第二循環器の数値が減っていますが、その分が救急科に推移しているためであります。

8 頁から 11 頁から各科の救急患者の取扱件数となります。循環器科・心臓血管外科について、例年並みの推移となっております。次に脳血管内科・脳神経外科について、例年冬場の患者数が多いですが、今年度は夏熱中症で運ばれる患者が多かった等の影響で夏場に患者数が伸びている状況です。

12 頁からにつきましては、時間帯別の、時間内、時間外、深夜、休日の区分帯毎の救急車の受入状態を示しており、全診療科、循環器・心臓血管外科、脳血管内科・脳神経外科、その他で分けて示しております。

13 頁、14 頁に関してはグラフに示したものになります。

⑤ 大型医療機器共同利用の実績(平成 23 年度～30 年度)

15 頁は大型医療機器の共同利用の状況です。当院の保有する医療機器を他の医療機関の紹介患者さんのために利用している、その利用状況になります。利用件数も年々増加しており。平成 30 年度に関しては全体で月 200 件程度の推移となっております。当院の大型機器も近隣の医療機関に利用していただいている状況です。

⑥ ドクターヘリ件数(平成 30 年度)

16・17 頁が 30 年度のドクターヘリ受入れ状況についての実績になります。診療科別は下の表をご参照ください。17 頁は搬送種別・男女比・年齢別・転帰・疾患別となっております。18 頁から 19 頁からは 30 年度の実績になります。30 年度の特徴といたしましては、11 月が気温の急激な低下により件数が多くなっておりますが 12 月～3 月は暖冬の影響で例年よりも少なくなっております。

⑦ 地域の医療従事者向け研修実績(平成 30 年度)

18 頁が 30 年の実績になります。放射線科が集まって CT の勉強会や、医師が集まって勉強会等です。看護師向けのエキスパートナーズ研修等があります。その他は市民等を対象とした公開講座等がございます。

⑧ 登録医一覧(令和元年 5 月 1 日現在)

最後 19 頁からが現在開放型病院として登録頂いている、登録医の先生方の名簿になります。全体で 109 件の病院の先生方に登録頂いている状況です。随時更新していきたいと思っております。

事務局からの報告は以上になります。内容につきまして、ご意見・ご質問等あればよろしくお願ひします。

4. 質疑応答等

- 脳血管内科の救急搬送件数が多いですが、脳血管系の疾患はすべて脳血管内科に搬送されるのでしょうか。搬送される時点での脳神経外科との区別はどのようになっているのでしょうか。(保健所所長)
- 脳の症状があるケースは基本的に脳血管内科で受けております。脳神経外科で直接受けているのはMRIとCTをとって出血が確認されているケースです。(田中院長)

- 救急搬送の患者さんの中でおくすり手帳を持って来られる方は全体でどの程度の割合でしょうか。(薬剤師会会長)
- 退院でしたら、ほとんどの患者さんが持って来ているが、現場からの救急搬送は半数程度であります。(藺田地域連携部長)
- 現在、電子おくすり手帳(スマホ)を使用されている方が増えているのですが、搬送された時点でスマホのロック解除のパスワード等がわからないという状況が考えられますので、質問させていただきました。できればペーパーの手帳も一緒に持って来ていただきたいと我々は考えております。(薬剤師会会長)
- やはり、おくすり手帳があると救急搬送時に、ある程度の推測ができますので、できるだけ持って来ていただくとありがたいです。(藺田地域連携部長)
- おくすり手帳はどちらかという医療者の為にあるものだと思います。電子化が進みますと、命にかかわるような場面で前述のような弊害が出る可能性がありますので、心配しているところです。(薬剤師会会長)
- 緊急時には本人の認証があれば、医療者も見ることができるシステムが構築される必要があると思います。(松崎統括診療部長)
- 参考にさせていただきます。ご意見いただきありがとうございます。(薬剤師会会長)

- 地域医療支援病院の登録医療機関は他と比べて多いのでしょうか。(市医師会副会長)
- 他院の状況は把握できておりません。現在の登録医療機関は横ばいの推移となっております。他県の病院を例に出すと、文書で登録希望を募っているところもあるようです。(副島経営企画室長)

- 各市民公開講座の参加者数の差に開きがありますが、広報の方法がそれぞれ違うのでしょうか。それとも市民の興味の差があるのでしょうか。(薬剤師会会長)
- 広報の方法につきましては、マスコミを利用・インターネットに掲示のみ・新聞広告を利用など統一ではございません。また、天候の影響で例年よりも参加者が少なかった講座もございます。(副島経営企画室長)

●ありがとうございます。他にご意見等御座いますでしょうか(副島経営企画室長)
<なし>

【閉 会】

これをもちまして、令和元年度地域医療支援病院運営委員会を閉会致します。本日はありがとうございました。(副島経営企画室長)

鹿児島医療センター

第 20 回 地域医療支援病院運営委員会 議事録

【日 時】 令和 1 年 12 月 18 日(水)18:00～19:00

【場 所】 鹿児島医療センター 会議室

【出席者】 野村 秀洋 (鹿児島市医師会 副会長)

上野 泰弘 (鹿児島県薬剤師会会長)

安楽 剛 (鹿児島市消防局 局長)

大野 達郎 (学識経験者)

田中 康博 (鹿児島医療センター院長)

中島 均 (" 副院長)

松崎 勉 (" 統括診療部長)

城ヶ崎 倫久 (" 臨床研究部長)

河野 完治 (" 事務部長)

村田 淳子 (" 看護部長)

事務局(藺田正浩、副島一隆(司会)、西辻美佳子、山口輝(議事))

【議事内容】

1. 院長挨拶

委員の皆様、本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。当院は地域支援病院として鹿児島県内病院の規範になる医療を提供することを目標に職員一丸で取り組んでおります。少しずつ良くなっておりますが、まだまだ不十分なところもあります。また、より多くの方々から評価していただき、それを参考にしながら、少しでも良い病院になるよう、一步でも二歩でも進めていきたいと思っております。

本日はいろいろなご意見を忌憚なく言っていただき、そちらを参考に努めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

2. 委員長挨拶

本日は我々が鹿児島医療センターの地域医療支援病院としての報告を受け、議論することで地域医療支援を発展させることができればと思います。

救急医療や医療関係者への教育、最新医療を整えて最新技術をもって、かかりつけ医に貢献するという重要な役割を担っていらっしゃいます。

今回の委員会は鹿児島医療センターがさらにより良い病院になるために、活発な会議とさせていただきますたく存じます。

3. 地域医療支援病院の現況報告(副島経営企画室長)

早速ではありますが現況報告を致します。それではお手元の運営委員会資料冊子をご覧ください。

① 地域医療支援病院運営委員会規程

始めに運営委員会規程になります。資料の1頁及び2頁です。人事異動によりメンバーの変更はございますが、規定については前回からの変更点はございません。

特に何もご意見がなければ次に進めさせていただきます。

② 患者数報告(平成27年度～令和元年度)

資料3頁からですグラフをご覧ください。平成30年4月に逓信病院の診療機能移転により370床から410床に増加したことを受け、年平均が増加しております。患者数は寒くなってくる時期に増加消する傾向にありますが、通年で見るとなかなか増えていないことが現状です。資料4項は新入院の患者数グラフの通りで微増している状況です。

③ 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率(平成27年度～令和元年度)

続きまして資料5頁からです、グラフをご覧ください。紹介率・逆紹介率の推移のグラフになります。地域医療支援病院の要件は満たしております。平成30年度から大幅に数値が増えています。こちらは地域支援病院の要件の中で率を計算する際に、今までは複数診療科を受診する患者の分それぞれカウントしていたものを今回より1人1カウントで計算するようにしたためであります。30年度の紹介率の伸びは東8階病棟の立ち上げによるものです。

④ 救急車搬送数及び救急患者取扱件数(平成27年度～令和元年度)

続いて救急患者数の状況です。年度の救急搬送数についてですが、徐々に増加傾向にあります。当院が平成28年11月から心臓病・脳卒中救急センターを立ち上げ、第二循環器の医師が救急科の専属医師となったため、第二循環器の数値が減っていますが、その分が救急科に推移しているためであります。救急車の搬送件数は、昨年は月平均170件ほど、今年度が180件程度になっております。また、今年の6月より不整脈治療科が追加されております。

8頁では救急車で搬送された患者さんが、発生現場から搬送されたのか、または医療機関等から搬送されたのかを記しております。

続いて、時間帯別の、時間内、時間外、深夜、休日の区分帯毎の救急車の受入状態を示しており、全診療科、循環器・心臓血管外科、脳血管内科・脳神経外科、その他で分けて示しております。

⑤ 大型医療機器共同利用の実績(平成 23 年度～令和元年度)

10 頁は大型医療機器の共同利用の状況です。当院の保有する医療機器を他の医療機関の紹介患者さんのために利用している、その利用状況になります。利用件数も年々増加しており。令和元年度関しては全体で月 200 件程度の推移となっております。当院の大型機器も近隣の医療機関に利用していただいている状況です。

⑥ ドクターヘリ件数(令和元年度)

11 頁が 30 年度のドクターヘリ受入れ状況についての実績になります。診療科別の実績は表をご参照ください。次の表は搬送種別・男女比・年齢別・転帰・疾患別となっております。

⑦ 地域の医療従事者向け研修実績(令和元年度)

15 頁からが地域の医療従事者向け研修実績になります。放射線科が集る CT の勉強会や、医師が集まって勉強会等があります。看護師向けのエキスパートナース研修等があります。その他は市民等を対象とした公開講座等がございます。令和元年度に関しては開催見込みのものも載せております。

⑧ 登録医一覧(令和元年 12 月 1 日現在)

最後に現在開放型病院として登録頂いている、登録医の先生方の名簿になります。全体で 109 件の病院の先生方に登録頂いている状況です。随時更新していきたいと思っております。

事務局からの報告は以上になります。内容につきまして、ご意見・ご質問等あればよろしくお願ひします。

院長より

現在、ドクターヘリの運用として、平日の時間内のみ、浜町ヘリポートへ当院ドクターカーにて患者さんを迎えに行っております。地域医療に貢献するためにも改善していけたらと思ひます。

4. 質疑応答等

○救急科のドクターの専門性の構成はどのようになっているのでしょうか。(委員長)

●もとは第2循環器内科に在籍していた医師を配置しております。基本的には、まずは救急科で受けその後各科に分配しております。また脳卒中など緊急を要する科についてはホットラインも設けております。(田中院長)

○大型医療機器について、CTの台数を教えてください。(委員長)

●128列が1台、64列が1台となっております。(経営企画室長)

○今年からかかりつけの薬局が予定入院の方へ、お薬手帳多は別に、どのような薬の飲んでいるかを整理したペーパーで渡すような活動をしておりますので、先生方からのご要望があれば薬剤師会の方で検討したいと思っております。(薬剤師会会長)

●紹介状よりも、おくすり手帳に書いてあることを参考にして病名を聞き出すなど役立っておりますので、ぜひ進めていただきたいと思います。(副院長)

○現在、電子おくすり手帳(スマホ)を使用されている方が増えているのですが、搬送された時点でスマホのロック解除のパスワード等がわからないという状況が考えられますので、質問させていただきました。できればペーパーの手帳も一緒に持って来ていただいきい我々は考えております。(薬剤師会会長)

○鹿児島市は全国的に見ましても転院搬送が多い状況です。転院搬送について、救急車でないといけないのでしょうか、それとも救急車でなくても転院搬送は可能なのでしょうか。(消防局長)

●こちらでカテをして別のところで治療をするケース等もございます。当院はドクターカーがありますので、基本的には当院のドクターカーにて転院搬送等は行っております。(田中院長)

○ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。(消防局長)

●ありがとうございます。他にご意見等御座いますでしょうか(副島経営企画室長)

<なし>

【閉会】

これをもちまして、令和元年度地域医療支援病院運営委員会を閉会致します。本日はありがとうございました。(副島経営企画室長)

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 相談室・その他 ()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療社会事業専門員、看護師、臨床心理士
患者相談件数	23,692件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none">・ 退院支援に係る相談・ 介護保険サービスに係る相談・ 福祉サービスに係る相談・ 身体障害者手帳関係に係る相談・ 生活保護制度に係る相談・ 医療費に係る相談・ がん相談・ 心理面での相談・ その他 <p>対応内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 医療従事者及び患者・家族の依頼により面談を行い、社会保険制度の説明や手続き方法の指導、関係医療機関との調整・ 退院後の受療や在宅の支援・ 診療科の案内・ がんに対する問い合わせ・ セカンドオピニオンに関する問い合わせ・ カウンセリング	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構 2013年2月受審 公益財団法人日本医療機能評価機構 2018年2月再受審	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 院内掲示 ホームページ 地域医療機関への広報誌	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 病棟と連携し、入院早期から支援の必要な患者・家族への介入や、患者・家族の意思決定にむけた支援を行い、退院後の適切なケア活用に向けた専門的支援を行う。退院、転院に関する情報提供。関係施設との連携。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 脳卒中地域連携クリティカルパス がん地域連携クリティカルパス ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 年3回の勉強会	